

平成23年の大学卒初任給（男女計）は前年比2.3%増の202,000円 ～賃金構造基本統計調査結果～

厚生労働省が公表した平成23年「賃金構造基本統計調査（初任給）」によると、大学卒の初任給は男性が205,000円、女性が197,900円となり、男女計では202,000円となりました。一方、高校卒は男性が159,400円、女性が151,800円、男女計では156,500円となりました。大学卒は男女とも前年比2.3%の増加、高校卒は男性が0.8%の減少、女性が0.9%の減少で、高校卒の初任給は男女とも前年を下回っています。

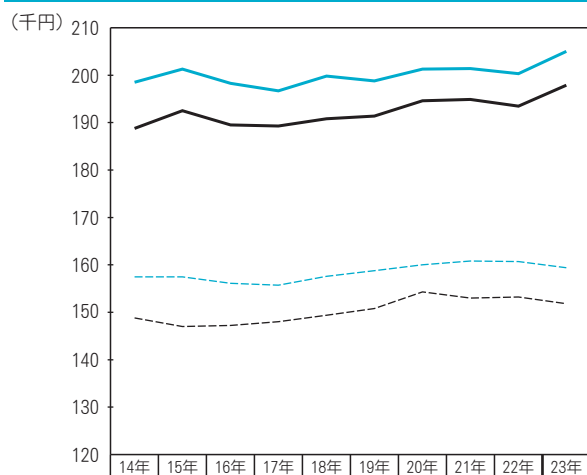
1. 学歴別の初任給

大学卒の初任給は男性が205,000円、女性が197,900円となり、男女計では202,000円となりました。高校卒では男性が159,400円、女性が151,800円、男女計では156,500円となりました。大学卒は男女とも前年から増加に転じ、前年比2.3%の増加、高校卒は男性が0.8%の減少、女性が0.9%の減少で、高校卒の初任給は男女とも前年を下回っています。

性別、学歴別の初任給				
男 女 計	大学卒	202.0千円	前年比2.3%増	
	高校卒	156.5千円	前年比0.8%減	
男 性	大学卒	205.0千円	前年比2.3%増	
	高校卒	159.4千円	前年比0.8%減	
女 性	大学卒	197.9千円	前年比2.3%増	
	高校卒	151.8千円	前年比0.9%減	

なお、過去10年の推移は以下のとおりです。

性別、学歴別初任給の推移



2. 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、大企業（男性：前年比3.1%増、女性同6.5%増）および中企業（男性：前年比3.3%増、女性：同1.2%増）で男女とも前年を上回っています。一方、小企業（男性：同2.8%減、女性：同3.2%減）では男女ともに前年を下回っています。また、高校卒では、大企業男性（前年比0.2%増）を除き、男女とも前年を下回っています。

* 大企業：常用労働者1,000人以上、中企業：同100～99人、小企業：同10～99人

性別、企業規模、学歴別初任給								
		大学卒			高校卒			
		初任給(千円)		対前年増減率(%)	初任給(千円)		対前年増減率(%)	
		23年	22年		23年	22年		
初任給および前年増減率	男女計	企業規模計	202.0	197.4	2.3	156.5	157.8	-0.8
		大企業	207.3	198.3	4.5	159.0	158.9	0.1
		中企業	202.2	197.2	2.5	155.7	156.8	-0.7
		小企業	189.5	195.9	-3.3	155.5	158.3	-1.8
男性	企業規模計	205.0	200.3	2.3	159.4	160.7	-0.8	
	大企業	207.5	201.2	3.1	160.3	160.0	0.2	
	中企業	206.3	199.7	3.3	158.6	159.1	-0.3	
	小企業	194.3	199.8	-2.8	159.8	163.7	-2.4	
女性	企業規模計	197.9	193.5	2.3	151.8	153.2	-0.9	
	大企業	207.1	194.5	6.5	155.9	156.6	-0.4	
	中企業	195.8	193.4	1.2	151.7	153.4	-1.1	
	小企業	185.3	191.5	-3.2	149.1	151.1	-1.3	

3. 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、男女ともに学術研究、専門・技術サービス業（男性248.3千円、女性227.7千円）が最も高くなっています。一方、最も低い産業は、男性は医療、福祉（192.2千円）、女性は宿泊業、飲食サービス業（185.4千円）となっており、最高と

最低の差額は男性が 56.1 千円、女性が 42.3 千円となっています。

高校卒では、男女ともに生活関連サービス業、娯楽業（男性 172.0 千円、女性 161.9 千円）が最も高くなっており、最も低い産業は、男性は医療、福祉（143.9 千円）、女性はサービス業（他に分類されないもの）（142.8 千円）となっています。最高と最低の差額は男性が 28.1 千円、女性が 19.1 千円となっています。

業種ごとに初任給をみると、「金融業、保険業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「教育、学習支援業」「サービス業（他に分類されないもの）」は性別、学歴に関係なく産業計に比べ初任給が低くなっています。

		男性		女性	
		大学卒	高校卒	大学卒	高校卒
初任給(千円)	産業計	205.0	159.4	197.9	151.8
	建設業	201.2	168.7	195.1	146.5
	製造業	197.9	159.5	194.0	152.4
	情報通信業	223.9	160.9	224.5	145.2
	運輸業，郵便業	193.9	160.4	197.6	161.7
	卸売業，小売業	199.1	158.3	194.9	156.6
	金融業，保険業	198.3	157.3	190.3	146.9
	学術研究，専門・技術サービス業	248.3	158.3	227.7	149.4
	宿泊業，飲食サービス業	199.1	153.4	185.4	150.0
	生活関連サービス業，娯楽業	222.2	172.0	202.4	161.9
	教育，学習支援業	203.2	157.5	193.3	152.0
	医療，福祉	192.2	143.9	195.0	147.0
	サービス業（他に分類されないもの）	197.2	154.9	192.5	142.8

注 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業、採石業、砂利採集業、電気・ガス熱供給・水道業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。

4. 都道府県別にみた初任給

都道府県別に初任給をみると、大学卒では、男性は東京が 226.1 千円で最も高く、以下、愛知（205.3 千円）、神奈川（204.4 千円）の順。女性も東京が 218.2 千円で最も高く、以下、神奈川（200.4 千円）、山梨（199.2 千円）の順となっています。

一方、高校卒では、男性は埼玉が 170.1 千円で

最も高く、以下、千葉（168.7 千円）、山梨（168.0 千円）の順、女性は宮城が 171.4 千円で最も高く、以下、神奈川（164.9 千円）、大阪（163.2 千円）の順となっています（図表不掲載）。

奈良県の状況を見ると、大学卒男性が 196.3 千円で都道府県順位は 14 位、大学卒女性は 188.3 千円で同順位は男性と同じ 14 位でした。一方、高校卒では、男性は 162.5 千円で都道府県順位は 12 位、女性は 158.8 千円で同 9 位となりました。

初任給を東京と比較すると、大学卒は男性が 28.8 千円、女性は 29.9 千円少なく、高校卒は男性が 2.5 千円、女性が 1.1 千円少なくなりました。東京との金額格差は男女とも大学卒よりも高校卒のほうが小さく、高校卒の初任給は東京とほぼ同じ額となっています。

近畿 2 府 4 県で比較すると、大学卒男女、高校卒男女のすべてで大阪がトップ、和歌山が最下位です。奈良県は高校卒女性の 5 位を除き 4 位に位置しています。

都道府県	男性		女性	
	大学卒(千円)	高校卒(千円)	大学卒(千円)	高校卒(千円)
滋賀	200.5	162.6	192.7	162.4
京都	198.7	160.3	188.2	160.0
大阪	202.4	165.3	196.2	163.2
兵庫	196.1	163.3	192.1	161.2
奈良	196.3	162.5	188.3	158.8
和歌山	188.3	157.3	182.8	147.2
東京	226.1	165.0	218.2	159.9

【調査の概要】

日本標準産業分類に基づく 16 大産業の 5 人以上の常用労働者を雇用する民営事業所および 10 人以上の常用労働者を雇用する公営事業所から一定の方法で抽出した事業所を対象としています。

平成 23 年 6 月末日現在雇用している新規学卒者の 6 月分の賃金について調査をしています。